

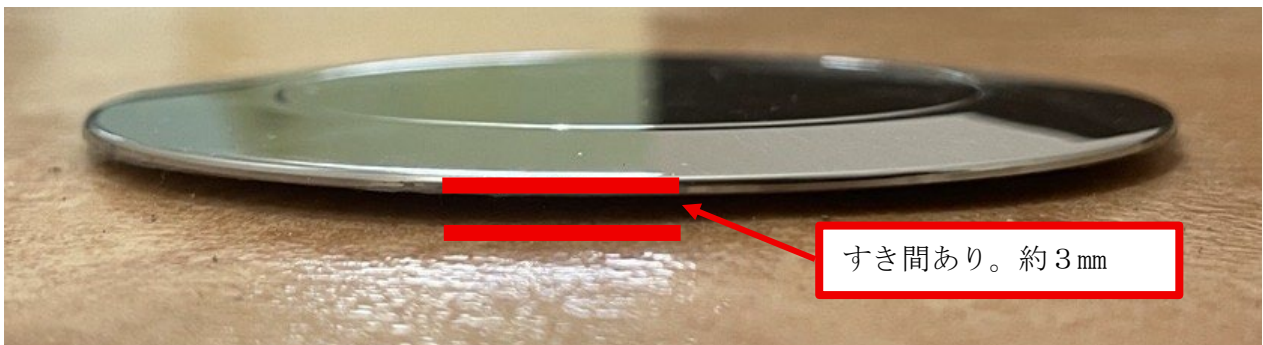
トイレ改修工事で床上掃除口の施工不良

令和7（2025）年度トイレ改修工事の完成検査で、**床上掃除口の受枠と、床仕上げ材ビニル床シートの間にすき間がありました**。それもすべての床上掃除口で、すき間がある状態でした。

すき間があるとゴミの侵入や、数ミリの段差ですが、歩くとつま先に引っ掛かりがありました。小学校なので児童の転倒の恐れと、**設計図と違う工法及び製品で施工**されていたため、手直し指示をしました。

※設計は化粧型ではなく、ワンタッチ式のシート露出防水用目皿付き掃除口です。

【完成検査時の写真】



【下検査時の写真】

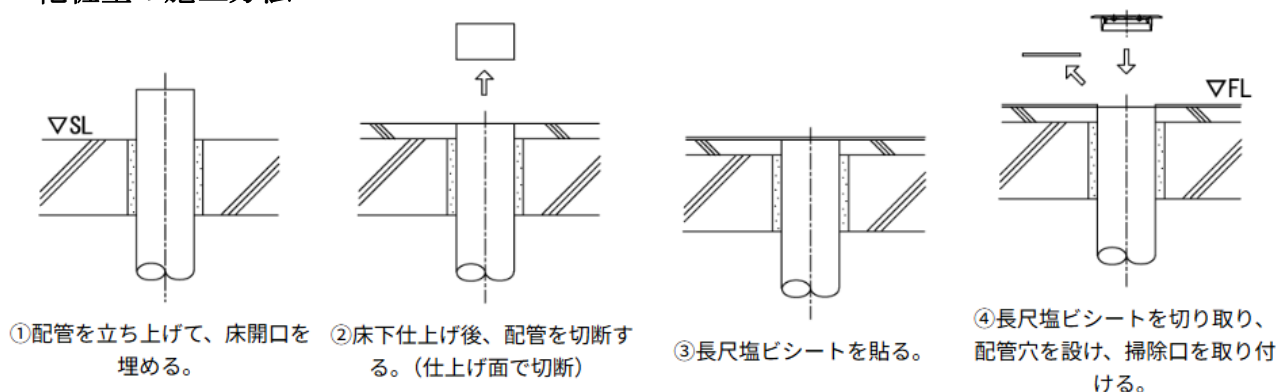


【施工不良の考察】

床上掃除口との接続に使用した塩ビ管（V P）が床仕上げ材ビニル床シートより、突き出している状態と考えられます（図 1 参照）。そのため、床上掃除口の受枠と床面にすき間が生じたと推測できます。

この状態からの手直しは、床上掃除口まわりのコンクリートを^{はっ}り、キレイに施工されていたビニル床シートを研りに必要な部分を切断撤去します。また、床上掃除口まわりに必要なビニル床シートを施工する工程が発生します。溶接工法のため、見た目も悪くなります。設計図通りのシート露出防水層用床上掃除口なら、床上掃除口自体がスラブ内に設置され、掃除口の蓋が床面より高くないように施工されているのが通常です（図 2 参照）。下記の施工方法を参考にし、建築とよく協議して施工してください。

・化粧型の施工方法



※カネソウ株式会社ホームページ「ワンポイント情報」より抜粋

参考 URL https://www.kaneso.co.jp/onepoint/36_yuka_haisui/2006/P061128.htm

図 1 今回の予想断面

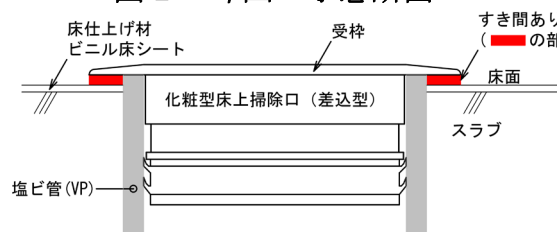
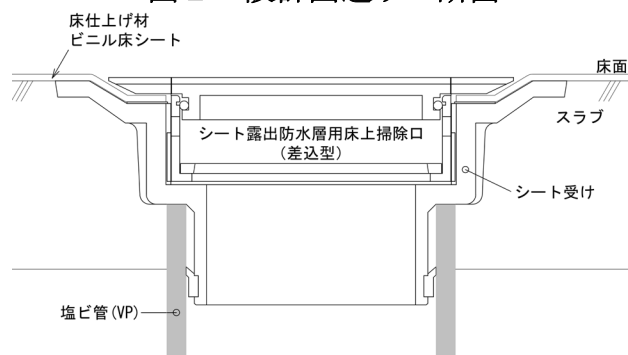


図 2 設計図通りの断面



令和 7 年度 事業者向け研修会のお知らせ

テーマ：「足場の安全について V R で学ぼう」

実施内容：V R 体感（高所からの墜落、可搬式作業台）＋災害事例 C G ＋安全講話

開催日時：令和 7 年 12 月 18 日（木）

【午前の部】 9 時 4 5 分～1 2 時 0 0 分

【午後の部】 1 3 時 4 5 分～1 6 時 0 0 分

※ 2 回とも同じ内容

開催場所：横浜情報文化センター 6 階情文ホール（横浜市中区日本大通 11）

参加申し込みなどの詳細については、近日中に公社ホームページに掲載します。